谷本　和広

ラーゴ市役所訪問の際にラーゴ市長がおっしゃった「『住みたいと思ってもらえる町にする』という明快なミッションに向かって、職員は誇りをもって仕事をしている。」というメッセージは、我々もぜひ共有し、香美市を構成する人がそれぞれの立場、持ち場で「住みたい町」づくりの実践者とならなければと改めて思いました。

吉田　孝

今回参加者全員がホームステイを経験したことがとても良かったと思います。

生活様式や文化の違いはあったとしても学ぶべきところは学び、又、日本の良さを再認識する機会となったと思います。交流を次の50年、100年後まで続けて欲しいと願ってます。

山本　順子

もう少し、ホームステイ先の人達とゆっくりしたかったです。一緒に日本の料理を作りたかった。「ちらし寿し」「お好み焼き」「カレーライス」を作り、とても美味しいと言って喜んでくれました。

５年後の訪問受入時には精一杯お手伝いしたいです。

依光　美代子

ラーゴ市の関係者による手厚い歓迎に涙が出そうになりました。

「香美市コーナー」が市役所・図書館・ラーゴ高校図書館に常設されており、胸があつくなりました。

初めてのラーゴ市訪問でしたが、楽しくて良かった事ばかりでした。

寺村　勉

当初、心配と不安のホームステイも、ホストファミリーの温かなホスピタリティーとおもてなしによって、こんなにもやって戴けるのかという思いを持ったのは私だけではないと思います。ホテル宿泊だとこれほどの友情と感動は生まれることも無く、私たちが受けたラーゴ市の方々との交流の深さや感動は大きく違っていただろうと想像します。

恒石　猛臣

１４時間の長旅を終えタンパ空港に到着したときに熱烈な歓迎を受け疲れを忘れました。

全員で参加する行事では大変有効・貴重な研修になり、お国による文化、習慣の違いも勉強になり意義深いものとなりました。

溝渕　千尋

相互に短期留学を続けている山田高校の生徒さんは、この恵まれた制度を生かし国際感覚を持った青年になってほしいという期待に沿って欲しいと思いました。

今回参加させていただいた事で、香美市のすばらしさに気づかされたことと、私自身の国際感覚も一歩前進しました。

市原　庸寛

昨年に続き、２回目のラーゴ訪問であったが、受入れに関わる全ての人の「おもてなし」を感じることができた。この「おもてなし」が両市交流の根幹となっている。交流を深める、文化に触れる、移動を鑑みればやはりホームステイで過ごすことがよいと思います。

上島　潤

歓迎レセプションでは50年の両市の絆を確認できました。これまで香美市が各訪問年度に贈呈してきた品々が年度別に展示され、いかに大切に保管展示されてきたか感じることができました。

今回のラーゴ訪問は次世代に繋げるために、次の50年に向けて両市の絆を深めることができたと感じました。

姉妹都市提携５０周年

香美市とアメリカ合衆国フロリダ州ラーゴ市との姉妹都市締結５０周年を記念して、香美市訪問団２２名が、令和元年１１月８日から１４日（５泊７日)の日程でラーゴ市を訪問し、全員がホームステイを行いました。

- １１月８日（金）　タンパ空港で熱烈な歓迎を受け、それぞれのホストファミリー宅へ分散。
- １１月９日（土）　セントラルパークのパフォーミングアートセンターで歓迎会、記念品交換、姉妹都市締結再調印、よさこい鳴子おどりや詩吟の披露
- １１月１０日（日）自由時間
- １１月１１日（月）市の施設を視察研修、警察、市役所、図書館、ラーゴ高校、消防署、自然保護施設、レクリエーション施設等
- １１月１２日（火）テクニカルカレッジ、企業訪問、商工会議所、老人ホーム、送別会
- １１月１３日（水）早朝に空港でお別れ
- １１月１４日（木）日付変更線を越えて日本へ

▶記念品の贈呈

姉妹都市ラーゴ市

ラーゴ市は、米国フロリダ州ピネラス郡中央部に位置し、メキシコ湾に面しています。フロリダ州には、ケネディ宇宙センター、ビーチリゾートとして有名なマイアミビーチやディズニーワールドなどの観光地があります。

ラーゴ市は１９０５年に誕生し、１９６０年代までは農産物の輸出産業が盛んでしたが、人口の増加に伴い、現在では、近隣都市のベッドタウンとなっています。

◆ラーゴ市までは、乗り継ぎの待ち時間等を含めると約１日かかります。時差は１４時間。

アメリカ合衆国
ラーゴ市

■はフロリダ州
人　口　　８４,９９６人
面　積　　４７.５㎢
（令和元年５月１１日時点）